

平成19年1月26日

各 位

会 社 名 株式会社テン・アローズ
代表者名 代表執行役社長 三屋 裕子
(コード番号 9885 大証第二部)
問合せ先 経理部 部長 谷口 博樹
TEL (078)792-7414

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社において特別損失を計上することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。
また、これに伴い、平成18年9月14日に公表しました個別業績予想と平成18年11月15日に公表しました連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社の連結子会社である(株)エニシルの株式について、純資産価値との乖離が大きくなったため、時価相当額まで評価減し、株式評価損1,817百万円を計上することといたしました。

2. 平成19年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	56,408	1,314	△1,020
今回修正予想 (B)	54,893	1,163	△1,225
増減額 (B-A)	△1,515	△150	△205
増減率	△2.7	△11.4	—
前期(平成18年3月期)実績	61,134	1,091	△76

3. 平成19年3月期通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,653	783	△88
今回修正予想 (B)	5,586	661	△2,037
増減額 (B-A)	△67	△122	△1,948
増減率	△1.2	△15.6	—
前期(平成18年3月期)実績	34,116	1,936	822

※ 当社は平成18年6月1日付けで持株会社体制に移行いたしました。従いまして、前期実績につきましては、移行前における株式会社シャルレの実績であります。

4. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正の理由

通 期

売上高につきましては、平成18年11月15日に公表いたしました業績予想より若干の下振れはあるものの、概ね予想どおり推移しております。

利益面につきましては、レディースインナー等卸売事業での商品生産体制の海外移行が順調に進んだことによる利益率の改善と、販売費及び一般管理費の削減、さらに一部事業計画の見直しによる、費用の未発生などにより、経常利益が714百万円増加いたします。

しかしながら、ギフト卸売事業での商品仕入のコストダウンの進捗が遅れていること、仏事返礼ギフトの苦戦などにより、経常利益が700百万円減少する見込みであります。また、その他の事業の販売費及び一般管理費の増加などにより経常利益が166百万円減少する見込みであります。

以上の結果、経常利益につきましては、当初見込みより11.4%減の1,163百万円に業績予想を修正いたします。

当期純損失につきましては、経常利益の変動に伴う影響に加え、法人税等が当初見込みより減少することにより1,225百万円に業績予想を修正いたします。

(2) 個別業績予想の修正の理由

通 期

売上高につきましては、概ね予想どおりに推移しております。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費が増加すると見込まれるため、経常利益を減額修正いたします。

また、特別損失といたしまして、前述いたしましたように、当社の連結子会社である(株)エニシルの株式の株式評価損1,817百万円を計上することとしたため、当期純損失を2,037百万円に修正いたします。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

以 上